

# 東日本ユニオン営業協議会

平成29年5月  
発行責任者  
竹田 浩幸

## 本部第2回常任委員会開催 各地での要員不足によるサービス低下があらわに

### 本部第2回常任委員会



5月9日、本部営業協議会は第2回常任委員会を開催し、駅業務委託、遠隔システム導入の在り方、駅の要員不足による会社対応について議論を行った。

本部竹田議長は、2月第1回常任委員会以降、2017春闘の取組みや、JR発足30周年労働条件・環境総点検行動に取り組む中、本日は、冬期体制の振返り、新たな業務委託拡大、エルダー制度問題について報告があると思う。また、4月、新採が我々の営業職場に配属となり、組織拡大についても取り組んでいると思う。直近では、新採ではないが新潟で拡大となった。営業から更なる拡大の行動を継続し結果を出していこう。遠隔システムについては、委託箇所への導入については提案がされないことを確認が取れた。現場の組合員を中心にアンテナを高くし情報の収集に努めて欲しい。と挨拶した。

本部 生田書記長は、現在「2017春闘」について闘い方がどうであったか総括を行っている。一律1,000円アップ、管理手当の見直しについてどうなのか、会社が示す目的に納得できるのか等検証を進めている。また、組合員によるスローガンの取組みでは目標に届かなかった。なぜそうであったのかも検証する必要がある。今後は、JR30周年労働条件、環境総点検行動で要求を高めた改善への取組み、組織拡大については日々の関わりを大切に、組織の弱点を克服し結果を出して欲しいと挨拶した。

#### 「各地本報告」

- ・1月提案。4/1、駅業務3駅委託拡大。花巻、ほっとゆだ、盛駅。希望調査が行われたのが、20日前。現駅に残ることが前提とした調査 (盛岡)
- ・3/15、秋田営業協議会定期委員会開催。エルダー職場の待遇について、年休数が少ない等の意見。(秋田)
- ・6/1、駅業務委託拡大。長町、北仙台駅。同日、VP米沢、新庄廃止。  
4/1、仙台駅・地下東口、地下南口、地下鉄乗換口へ遠隔システム導入 (仙台)
- ・2/5、相馬駅、4/1、浪江駅駅業務委託へ。  
エルダー退職後、パートとして努め、そろそろ辞めようとしたが、要員がなく辞められない。(水戸)
- ・6/1、西川口駅業務委託へ (大宮)
- ・2月、青梅駅～五日市間アトス化。LEDの入力の手間がなくなった。  
組合員の減少により分会再編へ。立川地区・八王子地区へ。7月の定期大会にて決定。(八王子)
- ・4/3、戸狩野沢温泉駅で1名拡大。Suicaの在庫少なく。支社にもなく各駅融通しながらの対応。  
5/2新入社員組合説明会実施。5/1、1名脱退。離れた箇所での組合員への支えが少なかったのか。  
長野駅の要員が慢性的に不足。休日勤務が多い。勤務変更が6項目事案を無視して行われている。苦肉の策で、1窓を閉鎖し要員運用を行う。更なる混雑へ。(長野)
- ・JR本体駅は18駅のみ。越後湯沢駅、冬期間要員不足。4月休日勤務8日。  
5月、新潟駅で新入社員組合ガイダンス開催。(新潟)
- ・7/1、本郷台、中山駅業務委託へ。4/30、VP藤沢、武蔵小杉廃止。(横浜)
- ・Suicaの在庫少なく。支社にもなく各駅融通しながらの対応。(千葉)

次回 第3回常任委員会 7月13日(木)13時30分 本部にて開催  
定期委員会・学習交流会は11月6(月)～7日(火)に決定。場所は別途